

平成 30 年度

学校自己評価
及び

学校関係者評価報告書

学校法人つくば文化学園
つくば国際ペット専門学校

(1) 教育理念・目標

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学校の理念・目的は定められているか	4	4
理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・保護者に周知されているか	4	3
各コースの教育目標・育成人材像は業界や社会のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
課題 学校の特色の周知は機会・浸透度とも達成されているが、教育理念や学校の目的については更なる工夫をもって周知を行う必要がある。		
今後の改善方策 各行事などの挨拶や掲示物、印刷物を有効に活用し周知、浸透を図るほか、オープンキャンパスや高校生への進路ガイダンス等でもわかりやすく紹介して行く。		
学校関係者評価委員会での意見 教育理念や目的は、分かりやすい言葉で学生に説明し、より具体的な例を上げるなどして、浸透を図るべきである。		
特記事項 なし		

(2) 学校運営

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
課題 学校運営やコンプライアンス体制は適切である。具体的な中期的方針策定が望まれる。		
今後の改善方策 少子化による生徒減少に備え、選ばれる学校作りを目指す。より細かい事業計画の策定により業界や地域社会、高等学校との関係強化を目指す。		
学校関係者評価委員会での意見 安定した学校運営であるが、業界との情報共有や地域社会との良好な関係作りも是非目指して行きたい。		
特記事項 なし		

(3) 教育活動

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
実践的な職業教育のためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4	3
インターンシップなどの実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け要件を備えた教員を確保しているか	4	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3
課題 教育方法の工夫・開発や職員の能力開発においては、十分に組織的に取り組んでいるが、従来の方法に依存しがちになり新しい方法が定着しづらくなっている。		
今後の改善方策 各授業内での工夫や開発などは教員間のミーティングや会議の開催などで情報を共有し、積極的に取り組み定着を図って行きたい。		
学校関係者評価委員会での意見 新しいものへチャレンジする事への環境整備や評価体制、継続支援などのシステム構築が課題となっている。		
特記事項 なし		

(4) 学修成果

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
就職率の目標を設定しているか	4	4
就職率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	3	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3
卒業生のキャリア形成の状況を把握し教育活動の改善に活用されているか	4	4
課題 学校不適応や登校不能による退学者が増加傾向にあり、従来のシステムでは効果が見られないパターンの事例が見られる。新しい対策や体制の構築が必要である。		

<p>今後の改善方策</p> <p>出席不能者または欠席が多い生徒は、担任、コース主任、生活指導担当、保護者などが連携して早めの対策をとり対応する。</p>
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>卒業生の活躍や動向を把握できるような取り組みを通して、生徒指導の方向性を掴み、指導に反映できるのではないかと。</p>
<p>特記事項</p> <p>なし</p>

(5) 学生支援

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
保護者と適切に連携しているか	4	3
卒業生への支援体制はあるか	4	3
<p>課題</p> <p>学生の校内での体調不良や容体急変などに対応するために、調査票の提出を求め、症状や対処方法について把握をするよう努めているが、万全を期すための組織体制の整備やマニュアルの作成などが必要である。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>職員全体が情報共有の上、突発的な事例に対応できる体制と指示系統を確立する。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>多様化する学生の気質や家庭環境への対応は職員の資質に依るところが大きく、負担も大きい。組織として先導や対応できる体制作りが必要である。</p>		
<p>特記事項</p> <p>なし</p>		

(6) 教育環境

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
学内以外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	3	3
課題 施設、実習、研修に関する環境は体制的に整えており、定期のメンテナンスなども行っている。 防災については、設備の点検や使用方法の指導が課題である。		
今後の改善方策 施設、設備のそれぞれの使用頻度や重要性、耐久性などを考慮しながら随時、改善、整備を行っていく。		
学校関係者評価委員会での意見 海外研修はより多くの生徒が参加しやすい、金銭的、日程的サポート制度を整えることが必要ではないか。		
特記事項 なし		

(7) 学生募集と受け入れ

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	4
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金の設定は妥当か	4	4
オープンキャンパス等の開催時期・内容は適切か	4	4
定員の設定と定員充足率はどうか	4	4
課題 学生募集は印刷物、SNS、広報活動などが一体となり当校の特色や教育成果などが伝わっている。 高校生やその家庭に十分理解してもらえよう高等学校とのより強いパイプ作りが課題である。		
今後の改善方策 高校生の受け入れやすい媒体を随時検討し導入して行きたい。		
学校関係者評価委員会での意見 安定した学生募集を続けていて安心である。定員充足はもちろんであるが、学生の質を向上させる取り組みも是非検討したい。		
特記事項 なし		

(8)財務

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
課題 財務状況は安定していて計画も適正である。 施設、設備の維持や学生サポート制度の更なる充実が必要である。		
今後の改善方策 安定経営を続けて行く努力を継続する。継続的に規程による財務情報公開を実施して行く。		
学校関係者評価委員会での意見 学生の日常の学習、学生募集活動に寄与する安定した財務状況が継続されている。施設・設備の整備や学生サポートを更に充実させたい。		
特記事項 なし		

(9)法令等の遵守

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4
自己評価結果を公開しているか	4	4
課題 自己評価と学校関係者評価を実施しているが、速やかな情報とりまとめと公開が課題となっている。		
今後の改善方策 法令や設置基準について更なる理解と適切な認識ができるよう、一部の職員だけでなく全職員教育も必要な取り組みである。		
学校関係者評価委員会での意見 自己評価と情報公開を継続して実施し、法令遵守と適正な運営を全職員が自覚と強い意志を持って真摯に取り組んで欲しい。		
特記事項 なし		